

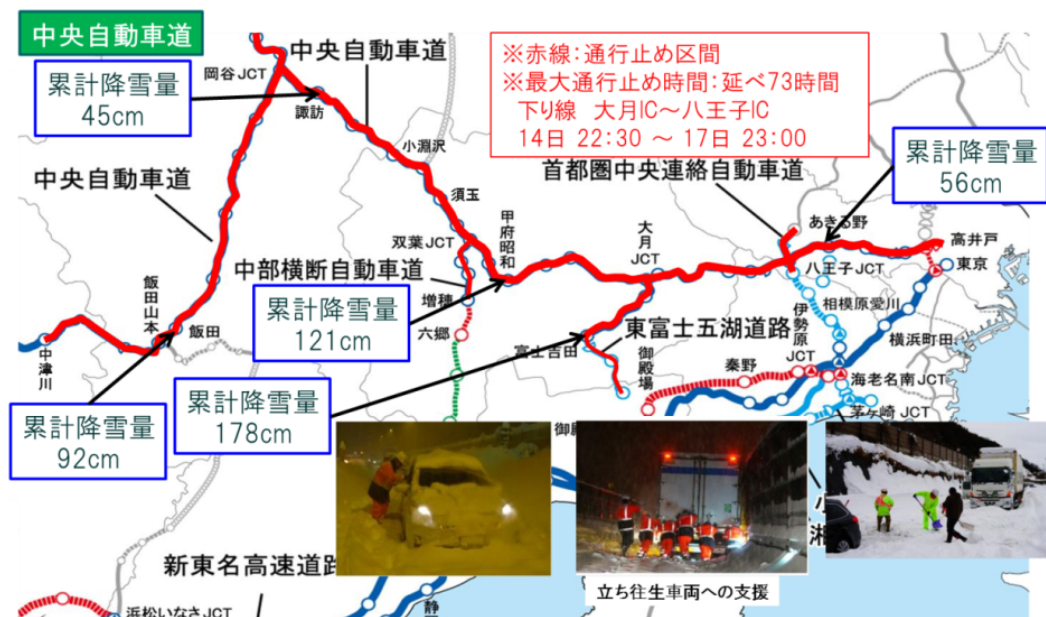
2014年度雪氷期に向けた取組み

—大雪予測時の事前情報提供による出控えや冬用タイヤ装着のお願い—

NEXCO 中日本

1. 2014年2月の記録的な大雪について

2014年2月14日から15日かけて、横浜町田ICで72cm、御殿場ICで126cm、富士吉田ICで178cmなどと除雪能力を超える記録的な大雪となり、登坂不能による滞留車両及び多数の滞留車両が発生し、その救出に長時間を要したため、東名で約45時間の、中央道で約73時間の長時間の通行止めとなり、多くのお客様に大変ご迷惑をおかけしました。



2. 中日本高速道路会社における雪氷対策について

中日本高速道路株式会社では、先述の2014年2月の大雪において、東名高速道路や中央自動車道の通行止めが長時間化したことから、この冬から早いタイミングでの雪に関する情報提供に努めることとしました。また、合わせて、雪による通行止め回避および通行止め時の早期解除を図る取組みの強化、高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けた関係機関との更なる連携強化など7つの取組みを実施することとしました。

2-1 2014年2月大雪時の課題と2014年度に向けた対策のポイント

2014年2月大雪時の課題を踏まえ、東名高速道路や中央自動車道において、早期の情報提供や安全啓発の実施のほか、通行止め時間の最小化を図るため、2014年度雪氷対策を順次全社展開し実施します。

【2月大雪時の課題のポイント】

1)お客さまへの情報・支援不足

- ① 通行抑制に向けた事前情報が直前であった
- ② 予報が豪雪で無かったため、お客さまの冬装備不十分

2)通行止めの長時間化〔長時間滞留の発生〕

- ③ 降雪予測が少なかったため、除雪体制強化が不十分
- ④ 滞留車の影響で立ち往生車両の救出に時間を要す
- ⑤ 立ち往生車両、滞留状態の把握が不十分
- ⑥ 他の道路管理者との連携不十分

【2014年度に向けての対策のポイント】

1)お客さま対応の拡充

- ① 大雪に関する情報の早期提供
- ② 出控えや冬用タイヤの装着をお願いするなど安全啓発の実施

2)通行止め時間の最小化

- ③ 除雪車両の増車、広域応援派遣など除雪体制の強化
- ④ 立ち往生車両発生防止のため除雪車両の集中投入、レッカー車等の事前配備強化
- ⑤ 現場状況の早期把握のため遠隔監視強化
- ⑥ 高速道路と一般道路が一体となった通行確保のための連携強化
- ⑦ 災害対策基本法改正に基づく立ち往生車両等への対応

2-2 大雪前の情報提供の充実に向けた取組み

大雪の気象予測が出された場合に、大雪時の出控えや冬用タイヤ装着について、公式 WEB サイトや高速道路上の広域情報板等を活用して、お客様への事前の情報提供を実施します。

- 気象予測を参考した降雪3日前程度から事前の大雪に関する情報提供の実施
- 除雪作業状況等、より詳細な各種提供ツールを定期的に更新して発信
(出控えに繋がるキーワードである「通行止め」「無理のない計画」などを利用する)

平成27年1月1日に公式WEBサイトで実際に掲載された事前通行止め予測情報

The image shows a comparison of emergency information on the NEXCO website between a PC and a smartphone. A yellow arrow points from the PC view to the smartphone view, indicating the information is accessible on both devices.

PC View:

緊急情報

1月1日夜～1月2日にかけて、東海地方、滋賀県で大雪による通行止めが予想されます。不要不急のお出かけはお控えください

1月1日夜から1月2日にかけて、東海地方、滋賀県で大雪による通行止めが予想されています。不要不急のお出かけはお控えください

【1月1日夜～1月2日に大雪による通行止めの恐れがある道路と区間】

道路名	区間
北陸道	米原ジャンクション ～ 木之本インターチェンジ
名神高速	関ヶ原インターチェンジ ～ 八日市インターチェンジ
新名神高速	亀山ジャンクション ～ 甲賀土山インターチェンジ
東名阪道	四日市東インターチェンジ ～ 伊勢岡インターチェンジ
伊勢湾岸道	飛島インターチェンジ ～ 四日市インターチェンジ
伊勢道	全線
東海北陸道	郡上八幡インターチェンジ ～ 白川郷インターチェンジ

スマートフォン View:

緊急情報

1月1日夜～1月2日にかけて、東海地方、滋賀県で大雪による通行止めが予想されます。不要不急のお出かけはお控えください

1月1日夜から1月2日にかけて、東海地方、滋賀県で大雪による通行止めが予想されています。不要不急のお出かけはお控えください

【1月1日夜～1月2日に大雪による通行止めの恐れがある道路と区間】

道路名	区間
北陸道	米原ジャンクション ～ 木之本インターチェンジ
名神高速	関ヶ原インターチェンジ ～ 八日市インターチェンジ
新名神高速	亀山ジャンクション ～ 甲賀土山インターチェンジ
東名阪道	四日市東インターチェンジ ～ 伊勢岡インターチェンジ

公式 WEB サイト <http://www.c-nexco.co.jp/>

2-3 安全啓発の取組み

公式 WEB サイトに新たなコンテンツを開発するとともに、リーフレット等の広報ツールを活用し、大雪時の出控えや冬用タイヤの装着についての安全啓発を実施します。

■雪路面での立ち往生による交通障害、雪道での事故への安全啓発

- 『雪道走行時の冬用タイヤ及びチェーンの必要性』『降雪・積雪時における普通タイヤでの立ち往生の危険性』等の共通認識

■各種広報ツールによる啓発の実施

- キーワード：「雪道装備（冬用タイヤ装着及びチェーン装着）」「雪道走行」



ポスター【雪道装備・雪道走行（イメージ）】

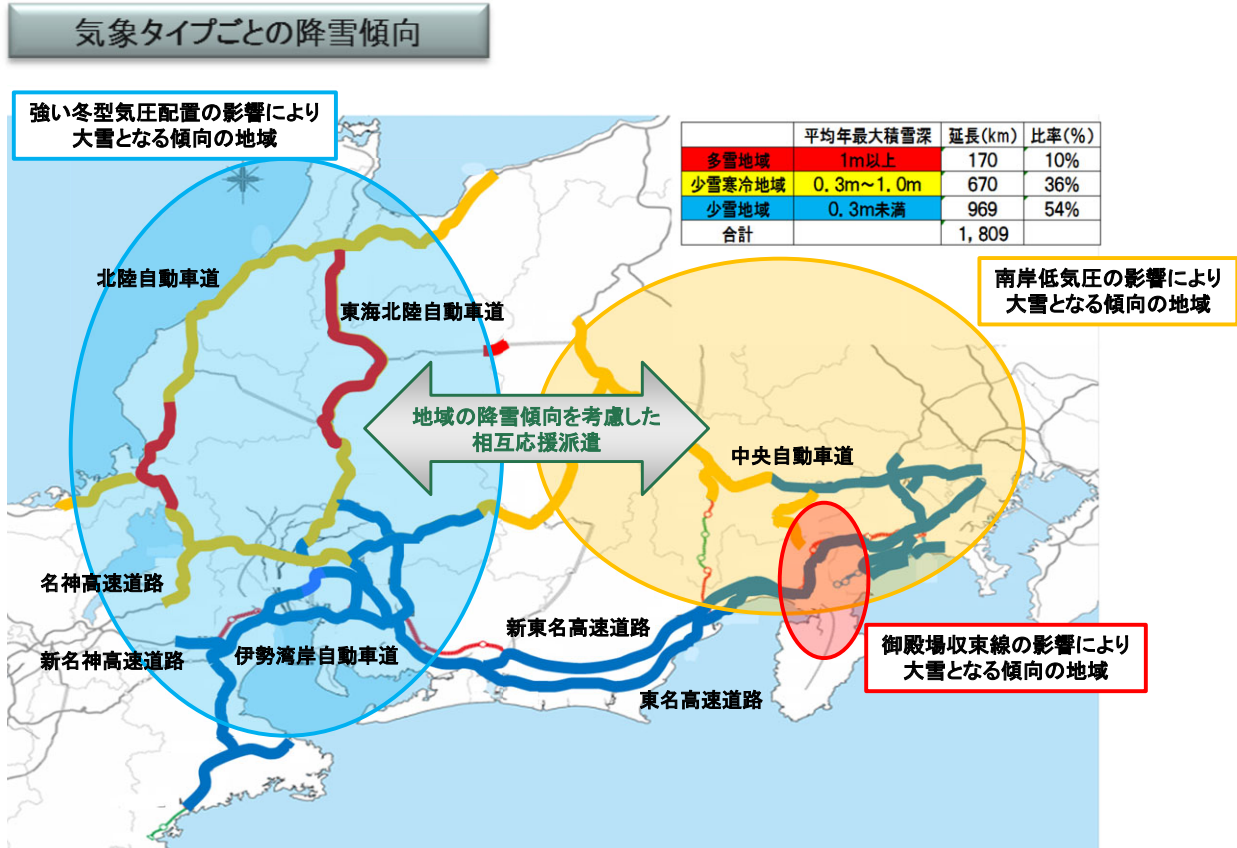


リーフレット【冬道走行に気をつけガイド】

公式 WEB サイト【雪道ドライブガイド】 <http://www.c-nexco.co.jp/special/snow/>

2-4 大雪でも高速道路の通行を極力確保するための取組み

- ① 通行止めの可能性が想定される場合に、除雪車両等を集中投入するための広域応援派遣体制の構築
 - 南岸低気圧又は冬型の気圧配置などの大雪となる気象タイプごとの降雪傾向、予測降雪量から応援派遣の実施基準を設定
 - 応援派遣は、3日前気象予測を参考に準備、24時間前気象予測を参考に決定、予測降雪開始時刻の1時間前を目安に現地配備を標準として設定

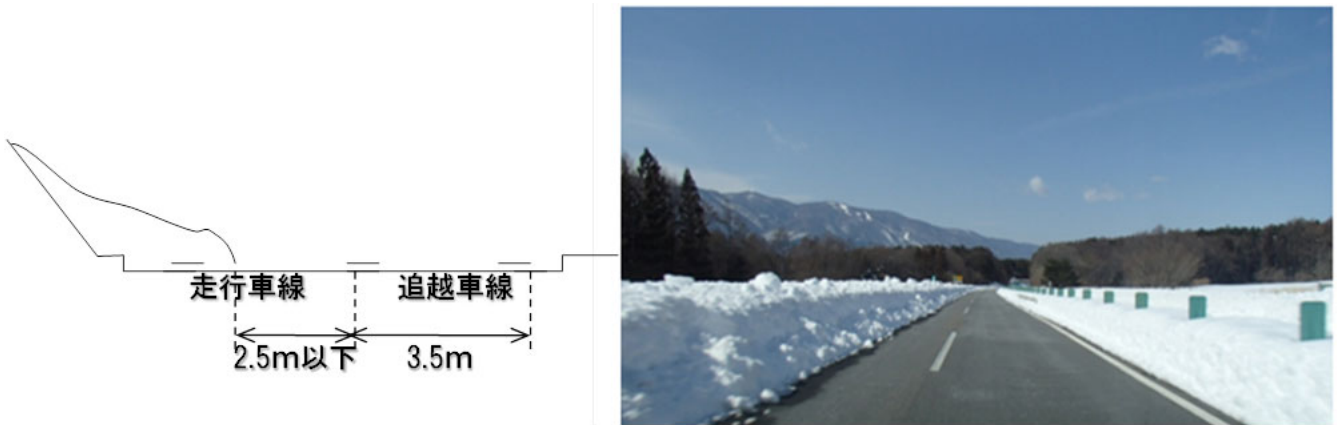


- ② 除雪車両の増強
 - ロータリー除雪車を7台追加配備（全社合計40台）
 - トラクターショベルを20台配備



《ロータリー除雪車による排雪作業状況》

- ③ 立往生車両発生箇所近傍にレッカー車やトラクターショベルの増強
- ④ 立ち往生車両多発箇所や、発生しやすい個所に道路監視カメラの増設
 - 東名高速道路に3箇所増設
 - 中央自動車道に11箇所増設（全社合計350箇所）
 - ※除雪作業の支障となる立ち往生車両を早期に発見し直ちに移動するための対応
- ⑤ 緊急交通路確保を考慮した連携及び情報共有のための連絡体制の強化
 - ※高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けた対応
- ⑥ 改正された災害対策基本法に基づいた、立ち往生車両や放置車両への対策の実施



《緊急交通路確保状況》



《トラクターショベルによる除雪作業状況》

3. おわりに

12月17日から的大雪により東海北陸道が最大で95時間にわたる通行止めとなるなど、降雪の影響による通行止めが12月17日には東海北陸道、中央道、名二環、東名阪道、東海環状道で、1月1日には名神、新名神、東名阪など広範囲にわたり、ご利用のお客様や沿線住民の皆様にも、大変ご迷惑をおかけしました。

今回の経験を基に更なる改善を図り、NEXCO 中日本では、応援体制を早期に構築し万全の態勢を整えるとともに、お客様に対しては事前の情報提供を確実に実施します。降雪時には、立ち往生車両の早期発見、早期排除に努め、安全に留意しつつ、少しでも早い交通確保に取り組めます。